

# スタッフのオススメ新刊本



『おとめの流儀』小嶋 陽太郎／著 ポプラ社 913.6 /コ

なぎなたって知っていますか？いろいろな部活を描いた小説がありますが、とうとう「なぎなた」部の登場です。さと子は中学1年生。いろいろな夢を抱いてなぎなた部に入部したものの、廃部寸前のへっぽこ部。やっと部員をかきあつめたけど意外な相手と試合をすることになります。試合の場面は手に汗握ります。



『走れ、風のように』マイケル・モーパゴ／作

佐藤 見果夢／訳 評論社 Y933.7 /モ

物語の主人公の犬はグレイハウンド犬。風のように走ります。3度も人間の都合で飼い主が変わり、名前も三たび変わりますが、悲しい運命の中でも主人公犬はいつも飼い主たちを慕い、信頼し、暖かく幸せな気持ちへと導いていきます。犬と人との友情を語る優しい物語。



『聞く力、話す力 インタビュー術入門』松原 耕二／著

河出書房新社 Y809.5 /マ

アナウンサーとしてさまざまな人にインタビューしてきた著者が、人の奥底にある本当の言葉を引き出すはどうしたらよいのかを探る。インタビューにおけるアプローチから、聞く姿勢、話し方などやさしく具体的に語ります。生身の人間同士。コミュニケーションで大事なことが詰まっています。

YA ブックリスト第29号

平成27年12月発行

稻城市立中央図書館

稻城市向陽台 4-6-18

TEL:042-378-7111

<http://www.library.inagi.tokyo.jp>

E-mail:inagilib@library.inagi.tokyo.jp

稻城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



はじめて  
みましょう！

「新年」から何を連想しますか？「新」、「初」、「始める」などの言葉でしょうか。これらの文字がつくとどこかおめでたい気がしますね。また新年は何か始めるのによい時期です。今回は新年から連想されるものや、新しく始めてみることをテーマに本をご紹介します！

『うたうとは小さなちひろいあげ』村上 しいこ／著  
講談社 913.6 /ム



日本の伝統のうた。短歌。五・七・五・七・七。高校に入ってひょんなことから「うた部」に入部した桃子。中学時代に辛い出来事があり、友人は作らないと決めていた。親友を残し、新たな世界を持つことに罪悪感を持ちながら、心から惹かれ楽しむうちに、心の奥の本当に大事な思いに気づき、歌も生き生きと変わっていく。

「短歌って心の格闘技かもしれない…。」

みずみずしい心の葛藤を短い言葉にぎゅっと集め、キラッと輝く情景に、短歌って素敵だなと思います。  
ぜひみなさんも思いを「うた」にしてみては…。

『ちはやふる』1~29巻 末次 由紀／作 講談社 Y726.1 /ス

百人一首かるたにかける情熱！こちらの漫画もどうぞ。

『短歌をつくろう』栗木 京子／著 岩波書店 Y911.1 /ク 楽しく短歌をつくってみましょう。

### 『日本の神様』 畑中 章宏／著 理論社 Y172 /ハ

「神さま仏さま～」と叫んだことはありませんか!?日本には神様が八百万いるといい姿形はありません。そんな誰も見たことがない神様を表現したのが神像です。この本は、関西弁の父娘の絶妙なボケとつっこみで神像を紹介しています。

年の始めは神社にお参りする良い機会です。祀られている神さまの得意分野と神社の由緒を知ってお参りしましょう。

『神社ってどんなところ?』 平藤 喜久子／著 筑摩書房 Y175/ヒ 神社について知りたい人に

『日本の神々がわかる神社事典』 外山 晴彦／監修 成美堂出版 175/ト

お参りしたい全国の神社ガイド



### 『はじめて哲学する本』 藤原 和博／著

ディスカヴァー・トゥエンティワン Y104 /フ

哲学って何だか難しそうですね。でも、まず目次を読んでみてください。身近な話題だなって思いませんか?生まれてから死ぬまで人生で出逢う「コト」「モノ」「ヒト」について「問い合わせ続けること」「疑うこと」が人生を哲学すること。答えが出なくてもいいんです!自分で考える練習を一緒に始めてみませんか。

『自分で考える勇気 カント哲学入門』 御子柴 善之／著 岩波書店 Y134.2 /ミ

幸せにあたいするよう「善く生きる」とは?勇気をもって自分で考えてみましょう。

『はじめの哲学』 三好 由紀彦／著 筑摩書房 Y111 /ミ

人類史上最大の難間に挑戦!冒險物語のような入門書。



### 『あした選挙へ行くまえに』 池上 彰／著 河出書房新社 Y314.8 /イ

選挙なんてティーンには関係ないとおもっていませんか?2016年夏の参院選から選挙権年齢は20歳から18歳に引き下げられます。高校3年生で投票に行くことになる人もいるでしょう。初めての選挙にそなえてその仕組みを学んでみませんか。わかりやすくおもしろく書かれています。あなたの一票で日本の政治が変わるかもしれません(なお、現時点では選挙年齢は20歳です)。

『政治のキホン100』 吉田 文和／著 岩波書店 Y310 /ヨ

政治全般について気軽に学べます。もちろん選挙のこと。

『18歳からの選挙Q&A 政治に新しい風を18歳選挙権』 全国民主主義教育研究会／編 同時代社 314.8 /ゼ 18歳の選挙権、これだけは知っておきたい。



### 『13歳からの料理のきほん34』

アントラム柘木 利美／著 海竜社 Y596 /ア

お料理はしてみたいけど、いざ作ってみようすると、初心者にとってお料理のレシピの言葉は難しくありませんか?中火ってどれくらい?ひと煮立ちって?お米を研ぐとき洗剤は必要?などなどお料理の本には書かれていないあたり前で大切なことがわかる本です。お料理に初挑戦するときにぜひ!

『はじめての料理 基本のきほん』 フルタニ マサエ／著 ナツメ社 D596 /フ

『「和食」って何?』 阿古 真理／著 筑摩書房 Y383.8 /ア

カレーやラーメンは何料理?和食について考えてみましょう。



### 『仏果を得ず』 三浦 しをん／著 双葉社 913.6 /ミ

とっつきにくさを感じる日本の古典芸能ですが、外国人の人と交流するとき歌舞伎や文楽などの知識があると素敵ですよね。今回は「文楽」が舞台の小説をご紹介します。健は文楽に全てを賭ける若手太夫。役作りに精進する毎日だ。修行の合間の恋愛あり、ジーンとくるエピソードあり、ドタバタあり、最後まで一気に読みます!

『あやつられ文楽鑑賞』 三浦 しをん／著 ポプラ社 777.1 /ミ 文楽の魅力を覗いてみましょう。

『歌舞伎入門』 古井戸 秀夫／著 岩波書店 Y774 /フ 初めて歌舞伎を見る人のために。

『カブキ!』 1~4巻 横田 ユウリ／著 角川書店 Y913.6 /エ 高校生が歌舞伎に挑戦する小説です。

冬のスポーツといえば?年末年始からのスポーツ観戦がより楽しくなるような本をご紹介します。

### 『仲間を信じて ラグビーが教えてくれたもの』

村上 晃一／著 岩波書店 Y783.4 /ム

2015年のワールドカップをきっかけに俄然注目されたようになったラグビーです。激しいプレイはもちろん、仲間を信じ助け合う姿、フェア精神が魅力的です。グラウンドには生涯の仲間との出会いが待っています。ラグビーをよく知らない人にもわかりやすい一冊です。

### 『白をつなぐ』 まはら 三桃／著 小学館 Y913.6 /マ

駅伝といえばお正月の箱根駅伝が有名ですが、こちらは1月の広島で開催される都道府県対抗男子駅伝の物語です。中高生から社会人までの選手たちがそれぞれの思いをたすきでつないでいきます。中高生アスリートの走ることへの思いをぜひ受け取ってください。

『すぐわかる\*ラグビー ルールと試合』 上田 昭夫／監修 成美堂出版 783.4 /ウ

『小・中学生のための足がグングン速くなる本』 伊東 浩司／著 カンゼン Y782.3 /イ

『タスキメシ』 額賀 淩／著 小学館 913.6 /ヌ 駅伝のお話に料理男子が登場!